

絵本「だんごむしのおなら」 著者ら、府に148冊寄贈



絵本「だんごむしのおなら」を京都府へ寄贈した著者の松村さん(右)と村上さん(中央)＝28日、京都市上京区・府庁

生き物の生態や友情を描いた絵本「だんごむしのおなら」(京都新聞出版センター刊)を多くの子どもたちに読んでもらおうと、著

者で建築設計会社社長の松村正希さん(73)＝宇治市＝らが28日、京都市上京区の京都府庁を訪れ、148冊を寄贈した。

絵本はタンポポの綿毛「わたげちゃん」がダンゴムシのおならの力を借りて空へ飛び立つストーリー。集中することが苦手なわたげちゃんを通して多様性を尊重することの大切さを表現しているという。絵は、手作り絵本作家の村上祐喜子さん(66)＝大阪府茨木市＝が担当した。

府健康福祉部の長谷川学部長に絵本を渡した松村さんは「絵本で子どもたちが笑顔になってほしい」と話した。府は、児童養護施設や子育て支援施設などに配布する予定。(本好治央)